

南相馬

# ミュージアム通信

Minamisoma City Museum News

Vol.31

平成28年12月15日発行

編集・発行

南相馬市博物館

原町区牛来字出口194

0244-23-6421

URL <http://www.city.minamisoma.lg.jp>

平成28年度特別展

## さくら い せん せい 櫻井先生のあつめた

## はま どの はな ばな 浜通りの花々

～櫻井信夫 半世紀、一万点の  
押し花標本・写真コレクション～



開催期間

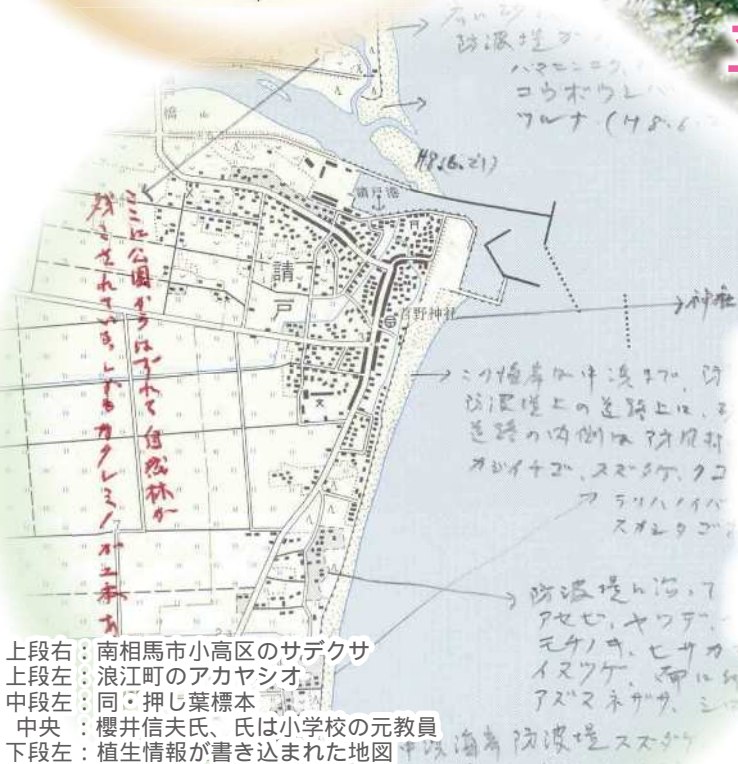
平成29年 1月14日(土)  
～ 3月26日(日)

——植物たちがそこにいた歴史が、  
のこされていました。

南相馬市小高区在住の櫻井信夫(さくらのいぶお)氏は、1960年ごろから現在に至るまで浜通りを中心に、約一万点の植物の押し花標本や写真資料を収集してきました。それらは今では原発事故の影響で立ち入りの制限されている地域や、津波によって大きく様変わりした地域などの震災前の様子を物語る、たいへん貴重な資料です。

今回、現在資料を保管している福島大学資料研究所との共催で、櫻井氏のあつめた膨大な資料の一部をご紹介します。これらを通じて震災以前の浜通りの植物の歴史に触れてみませんか？

観覧には常設展観覧料がかかります。  
詳細は裏面の下部をごらんください。  
解説会のご案内も裏面にございます。



上段右：南相馬市小高区のサデクサ

上段左：浪江町のアカヤシオ

中段左：同・押し葉標本

中央：櫻井信夫氏、氏は小学校の元教員

下段左：植生情報が書き込まれた地図

# 文化財レスキューの紹介

お だ か ぎ ん さ こ う じ ェ う し り ょ う

## 小高銀砂工場の資料

“銀砂”って何??

小高で銀がとれたの?

答えはNO.

銀砂は珪砂という

ガラス質の砂です!

平成23年3月11日の東日本大震災以降、市内各地で被災建物の解体が進んでいます。特に旧避難準備区域だった小高区では、解体件数が非常に多いため、歴史的建造物や長年蔵や納屋の中に保存されてきた小高の人々の生活と歴史を伝えるものが廃棄されています。博物館ではこうしたもののうち、貴重な資料を市民のみなさんから寄贈していただいています。そして、この活動を文化財レスキューと呼んでいます。

今回、文化財レスキューが行われた小高銀砂工場について紹介します。小高銀砂工場は、明治から昭和初期に東北開発を見据えて幅広く活躍した政治家・実業家半谷清壽（はんがいせいじゅ）が大正2年（1913）に創業した珪砂（けいしゃ）事業です。小高産の珪砂は小高白銀砂ともいわれ、「ピリケン印珪砂粉」としてガラス原料や鋳物砂として出荷されました。また、小高産の珪砂は安定した高品位なものであるところからセメントの強度試験用として、国より「相馬標準砂」としての指定を受け、セメント・建設業界などに出荷されました。その後、輸入品の影響もあって昭和51年（1976）に精製工場は閉鎖されましたが、白銀砂の採掘事業は、祥和コーポレーショングループ（本社：栃木県）が継承し、新たな展開を目指しています。

※皆さんのご自宅に歴史や文化を伝える資料がありましたら、博物館にご連絡ください。



小高銀砂工場の看板



小高銀砂工場（昭和22年頃）  
写真提供：半谷孝壽氏



ピリケン印ラベル  
寄贈：半谷孝壽氏



うじがみほこらへんがく  
氏神祠扁額「業産と職業」  
半谷清壽による書  
寄贈：半谷孝壽氏

### 南相馬市博物館の催し物

12月～3月

※申し込みはお早めに。定員になり次第締め切ります。

問合せは 南相馬市博物館 0244-23-6421

期 日	タイトル	詳 細
12月25日(日) しめきり間近!	体験学習 正月飾り作り	13:30~15:30 定員18名 講師：高田求幸氏（博物館資料調査協力員） 自分で作った正月飾りで、新年を迎えよう！ ※中学生以上から申込できます。材料費1000円をお持ちください。
平成29年 1月28日(土)	講座 郷土料理べんけいを学ぶ	13:30~15:00 定員20名 講師：川崎悠（当館職員） 原町区萱浜に伝わる郷土料理「べんけい」のたどった歴史、由来について学びます。 ※試食もあります。【持ち物】筆記用具等
3月5日(日)	展示解説会 櫻井先生による特別展解説会	13:30~15:00 定員30名 講師：櫻井信夫氏（あぶくま生物同好会会長） 開催中の特別展「櫻井先生のあつめた浜通りの花々」に併せ、展示されている花々の資料を収集された櫻井信夫氏ご本人をお招きして解説をしていただきます。ぜひご参加ください！
3月18日(土)	講座 古文書にみる江戸時代の旅 —相馬から江戸・京都・伊勢—	13:30~15:30 定員30名 講師：水久保克英 主査 江戸時代の日記や記録類にみられる旅について、その道筋や行程、名所などの内容を紹介し、昔の人の旅の様子について解説します。

### ご利用案内

#### 南相馬市博物館

問い合わせ 〒975-0051 原町区牛来字出口194 電話：0244-23-6421 FAX：0244-24-6933  
E-Mail: hakubutsukan@city.minamisoma.lg.jp

開館時間 9:00～16:45（最終入館は16:00まで）

休館日 毎週月曜日および年末年始（12月29日～1月3日）

※月曜日が祝・休日の場合は開館、その翌平日が休館日となります。

観覧料 一般300円（250円） 高校生200円（150円） 小中学生100円（80円）

（ ）内は20名以上の団体料金です。

※市内（飯館村も含む）に居住・通学する小中高生は無料。障がい者の方は無料（手帳をご提示ください）

